

令和7年度

研究所本館タイルカーペット張替業務

仕様書

令和7年10月

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

1. 業務概要

本業務は、研究所本館（延べ床面積：2,782 m²）のタイルカーペット張替を行うものである。

2. 履行場所

神奈川県横須賀市長瀬 3－1－1

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

3. 履行期間

契約締結日から令和 8 年 2 月 27 日までとする。なお、年末年始休暇は休日として設定している。

4. 業務内容

(1) 什器・備品・機器類の退避

別添の現状図に基づき、担当職員が指示する場所へ、什器・備品・機械類を退避する。

(2) カーペットの張替

別添の各図に基づき、張替作業を実施する。これに伴い発生するタイルカーペットや巾木等の廃材は、受注者が回収・処分する。

(3) 什器・備品・機器類の原状復帰

原則として、什器・備品・機器類は原状復帰とする。なお、機器類については、担当職員立会いのもと、導通確認をテストする。

5. 作業詳細

5-1 什器・備品・機器類の退避

- (1) 本業務の作業は、原則として、土曜日、日曜日、祝日の 8:30～18:00 とし、これら以外となる場合は、その理由を付して、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。なお、什器・備品・機械類の退避作業に限っては、土曜日及び祝日の前日 17:00～22:00 まで実施できるものとする。
- (2) 原状復帰を確実なものとするため、別添の各図を基に、作業前にナンバリング図を作成し、什器・備品・機械類をはじめ、段ボール箱（キャビネットや机の中の書類等を詰めたもの）に対しても、品名等の記入ラベルを貼り、管理できるようにすること。なお、このラベル貼り作業をはじめ、段ボールへの箱詰めは、原則として、研究所職員が実施するが、段ボール、テープ、ラベル類については、予め必要数を算出し、納品すること。この場合、全階分一括ではなく、作業工程に合わせた納品とし、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (3) 退避する什器・備品・機器類のうち、PC の離線・移動については、原則として、研究

所職員が実施するが、職員間で共用している OA タップ、LAN 配線用の HUB、LAN ケーブル等をはじめ、複合機等の大きなものは、受注者が退避・管理するものとする。

- (4) OA タップは、退避前に各机での必要コンセント数を把握し、その数を賄える OA タップを原状復帰すること。OA タップの追加・更新等については、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (5) LAN 配線についても、OA タップ同様、退避前における各机での必要ケーブルの把握等、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (6) ビジネスホンは、各机等に配置されているローゼットは残置し、それ以外は電話線を付した状態で電話機本体と共に保管すること。その際は、物理配線処理のみとするが、ローゼットの各ポートへの原状復帰を確実なものとするため、何らかの目印を残しておくこと。
- (7) 退避場所は、原則として、担当職員が指示し、ブルーシート等で適切に養生するものとするが、それらによらない場合は、事前に担当職員の許可を得るものとする。

5-2 カーペットの張替

- (1) 貼り分け方法については、別添の面積図を基に、執務室及び会議室は「市松貼り」とし、一般エリア及び役員室は「流し貼り」とする。
- (2) 指定品と同等以上の材料を使用し、ピールアップ工法で施工すること。
- (3) 張替面積は目安であり、誤差が想定されるため、正確な面積は、契約締結後、現地確認すること。
- (4) カーペットの回収等では、研究所内へのコンテナ設置を可とするが、設置場所（駐車場等）は適切な養生や飛散防止対策を行うこと。なお、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (5) 資材搬入・廃材搬出の動線は、汚濁と傷防止のためにブルーシート等で養生すること（通路養生、プラベニヤ等での開口部養生等）。
- (6) 張替時において、パーツの欠損や高低差の違い等を発見した場合は、速やかに担当職員に報告するとともに、担当職員と協議のうえ、是正措置を決定するものとする。
- (7) OA フロア下から立ち上がっている配線は、各所カーペットを切り欠き等して、安全かつ見え良く仕上げる。なお、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (8) カーペットの余りは、担当職員の指示場所に箱詰めして保管すること。
- (9) 巾木の貼替範囲とその高さは、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。

5-3 什器・備品・機器類の原状復帰

- (1) 什器・備品・機械類の原状復帰は、原則として、別添の現状図の通りとするが、事前に担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (2) OA タップ、LAN、電話配線は、退避時の記録等に基づき、場所・個数を振り分け、机上

等の適切な位置に戻すこと。

- (3) 什器・備品・機器類の退避時において、何らかの紛失・欠損等が生じた場合は、受注者が修理・保証・交換等を行うものとする。
- (4) 原状復帰する什器・備品・機器類に埃等の汚れが付着している場合は、可能な範囲で拭き上げ清掃を行うものとする。
- (5) 研究所の業務に支障なきよう、機器類が原状復帰され次第、担当職員立会いのもと導通確認をする。確認範囲は、PC の通信及びプリンタ出力をはじめ、複合機の FAX 通信、その他必要な通信機器とする。
- (6) 各所の養生は、各作業の完了後ごとにすべて撤去・処分するものとする。

6. 導入材料

- (1) タイルカーペットは、下表の仕様、もしくは同等以上のものとし、受注者は契約締結後、カーペット貼り分けプランを 2 パターン作成のうえ、発注者へ提案すること。
- (2) その際の色は、近年の官公庁で導入されているトレンドを踏まえたものとする。

場所等	延べ床面積	仕様
執務室	1,534 m ²	サンゲツ NT700 シリーズ（メーカー参考） 全厚 7.0mm サイズ 50cmx50cm リサイクル原着ナイロン 100%
会議室	195 m ²	サンゲツ DT シリーズ（メーカー参考） 全厚 7.4mm サイズ 50cmx50cm 圧着ナイロン 100%
一般エリア	566 m ²	サンゲツ NT700 シリーズ（メーカー参考） 全厚 7.0mm サイズ 50cmx50cm リサイクル原着ナイロン 100%
役員室	487 m ²	サンゲツ DT シリーズ（メーカー参考） 全厚 9.0mm サイズ 50cmx50cm リサイクル原着ナイロン 67.5% スペースダイ 32.5%
ソフト巾木	—	サンゲツ カラー巾木 高さ 75mm 相当（メーカー参考）

6-1 揮発性有機化合物対策

- (1) 本業務の使用材料（接着剤を含む）においては、揮発性有機化合物 6 物質（ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン）（以下「6 物質」という。）の含有や使用の有無を安全データシート SDS 等で確認するとともに、6 物質の少ない、又は含有していないものの使用に努めること。
- (2) 6 物質のうち、いずれか一つでも含まれる場合は、室内濃度測定を行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認すること。
- (3) また、6 物質の拡散を促進するため、業務時はもとより、完成後引渡し前においても、可能な限り換気を行うこと。

6-2 揮発性有機化合物の室内濃度測定

- (1) 受注者は、6 物質を含む材料（接着剤を含む）を使用した場合、又は安全データシート等で確認できない場合は、室内濃度測定を行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認し、担当職員へ報告すること。
- (2) なお、測定方法は、以下のとおりとする。
 - (a) 測定物質
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン
 - (b) 測定方法
ア：居室の窓及び扉（造付け家具、押入れその他これらに類するものの扉を含む）を 30 分間開放し、窓及び扉を 5 時間以上閉鎖した後、その状態で採取を行うこと。
なお、連続運転できる換気設備がある場合は、稼動させ、当該換気設備に係る給排気口を開放することができる。
イ：居室中央付近の床から高さ 1.2m～1.5m の間において採取を行うこと。
ウ：採取時間は、吸引方式では 30 分以上継続して、同時に又は連続して、2 回以上行うこと。拡散方式では 8 時間以上とすること。なお、拡散方式とは、測定バッチ・パッシブサンプラーとする。
エ：ホルムアルデヒドは、DNPH 誘導体化固相吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法とすること。
オ：その他の揮発性化合物は、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、又は容器採取法とガスクロマトグラフ／質量分析法の組合せとすること。

7. 完成図書

本業務における完成図書は、電子納品によるものとする。

- (1) 電子納品とは、提出書類すべての最終成果（以下「完成図書」という）を電子データで作成し、納品するものである。
- (2) 「完成図書」は、作成した電子データを電子媒体（CD-R 又は DVD-R）で 1 部提出するものとする。なお、「完成図書」の詳細内容及び電子化については、担当職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (3) 本業務における仕様書及び発注図面の電子データは、発注者が提供する。
- (4) 提出書類
 - ① 業務報告書（記録写真等）
 - ② 担当職員が必要と判断し指示するもの

8. 完成図書提出先

神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1

9. 検査

本仕様書のとおり実施されたことの確認をもって検査とする。

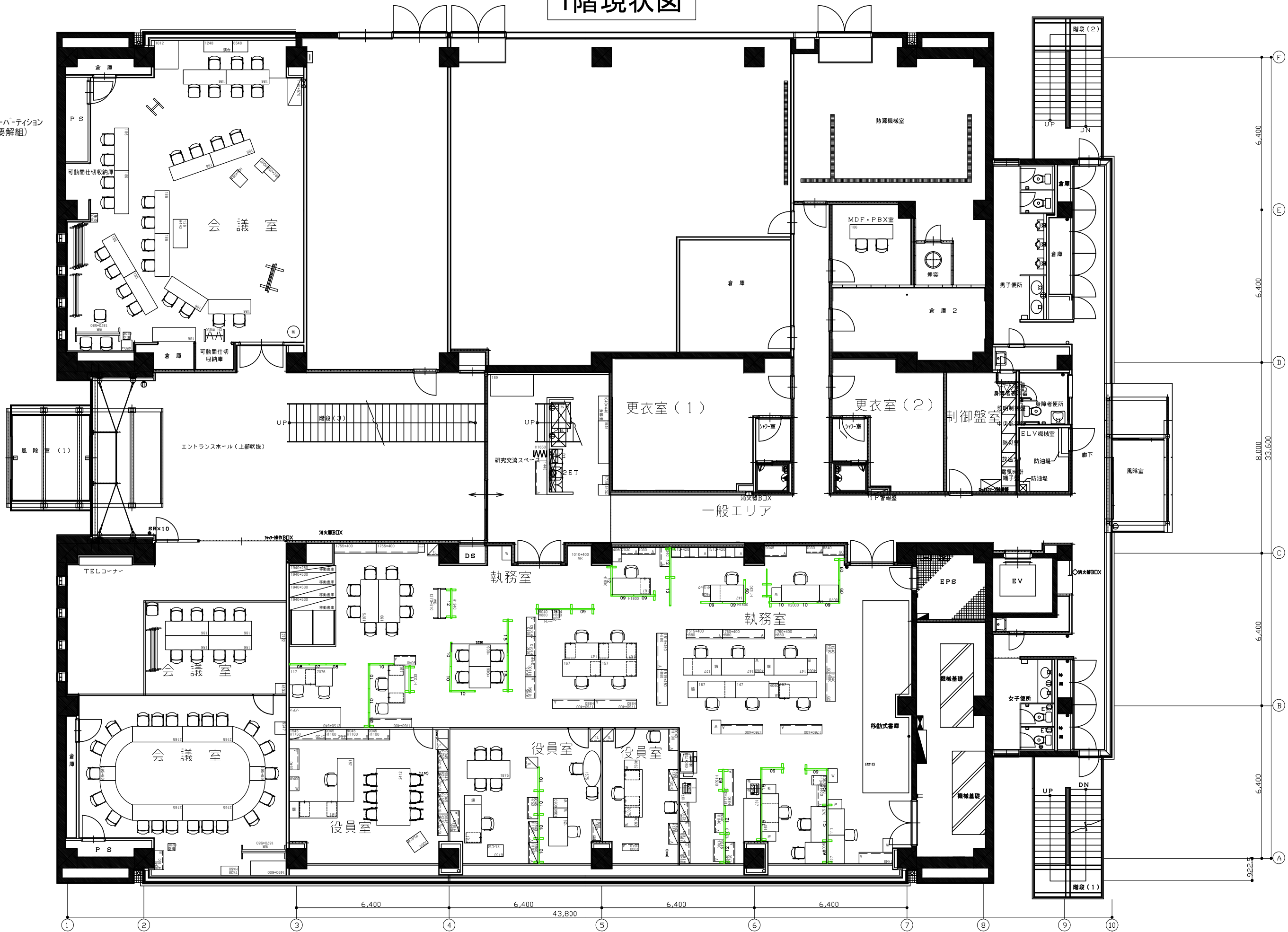
10. その他

- (1) 本仕様書に明記なき事項及び、本業務の遂行上疑義が生じた場合は、両者が協議のうえ、決定するものとする。また、業務内容の変更により、契約金額に変更が生じる場合は、両者が協議のうえ、履行期間末日までに、契約変更を行うものとする。
- (2) 本業務により得られた成果は、当所に帰属するものとする。
- (3) 受注者は、本業務遂行中に、建物・機械等の当所所有物に損傷を与えた場合は、直ちに担当職員に報告し、受注者の負担で復旧するものとする。
- (4) 発生材の処理は受注者において適法に行うこと。
- (5) 受注者は、施行前後を含め、施工状況を撮影した記録写真を提出すること。

以 上

1階現状図

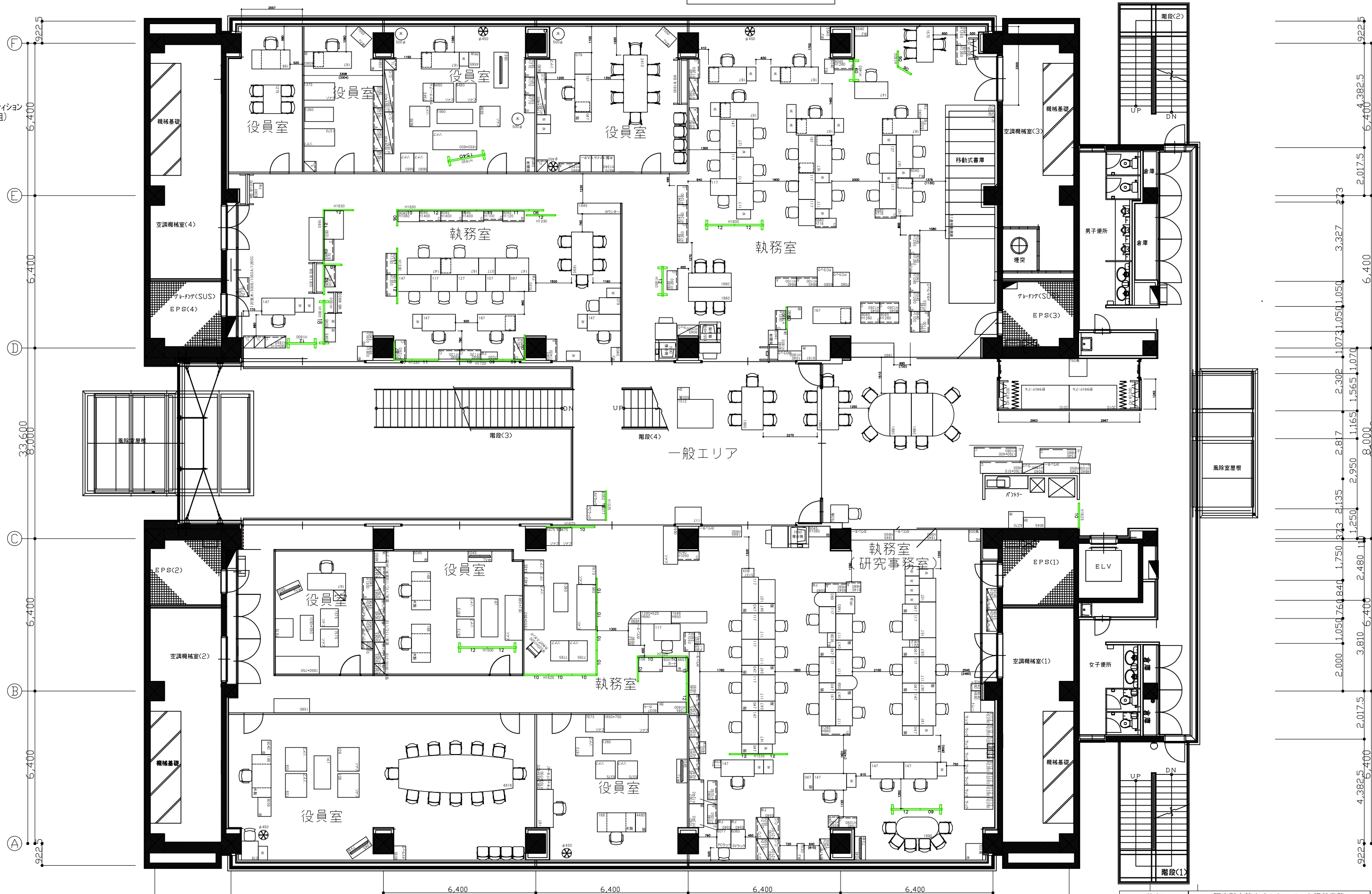
■ 凡例
--- ローバー・ポジション
(要解組)



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	1階現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	1
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

2階現状図

■ 凡例
ローハーション
(要解組)



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	2階現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	2
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3階現状図



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	3階現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	3
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



- 凡例
- 電気・TEL・LAN図面
- ① 家庭用タップ
 - ② 4個〇〇Aタップ
 - ③ 壁コンセント
 - ④ LAN壁コンセント
 - ⑤ TEL壁コンセント
 - ⑥ アップコンセント
 - ⑦ 幹線
 - ⑧ HUB
 - ⑨ 電話機
 - ⑩ 内線番号

件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	1階電気・電話・LAN現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	4
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

2階電気・電話・LAN現状図



- 凡例
電気・TEL・LAN図面
- 家庭用タップ
 - 4個口OAタップ
 - 壁コンセント
 - LAN壁コンセント
 - TEL壁コンセント
 - アップコンセント
 - 幹線
 - XH HUB
 - 電話機
 - 内線番号

件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	2階電気・電話・LAN現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	5
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3階電気・電話・LAN現状図

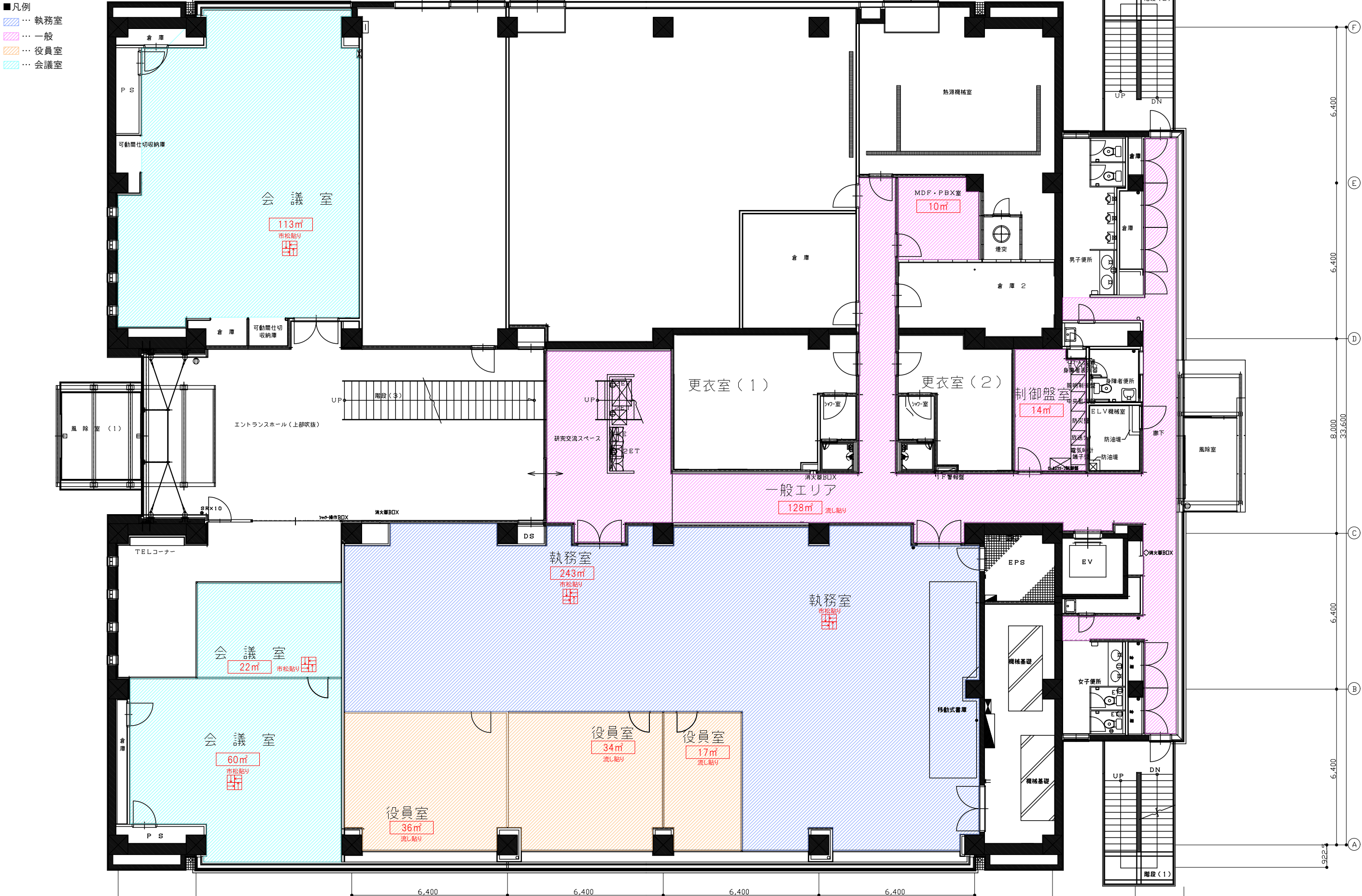


- 凡例
電気・TEL・LAN図面
- ① 家庭用タップ
 - ④ 4個口OAタップ
 - ② 壁コンセント
 - ③ LAN壁コンセント
 - ⑤ TEL壁コンセント
 - ⑥ アップコンセント
 - ⑦ 幹線
 - ⑧ HUB
 - ⑨ 電話機
 - ⑩ 内線番号

件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	3階電気・電話・LAN現状図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	6
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

延床面積 677m²

1階床面積図

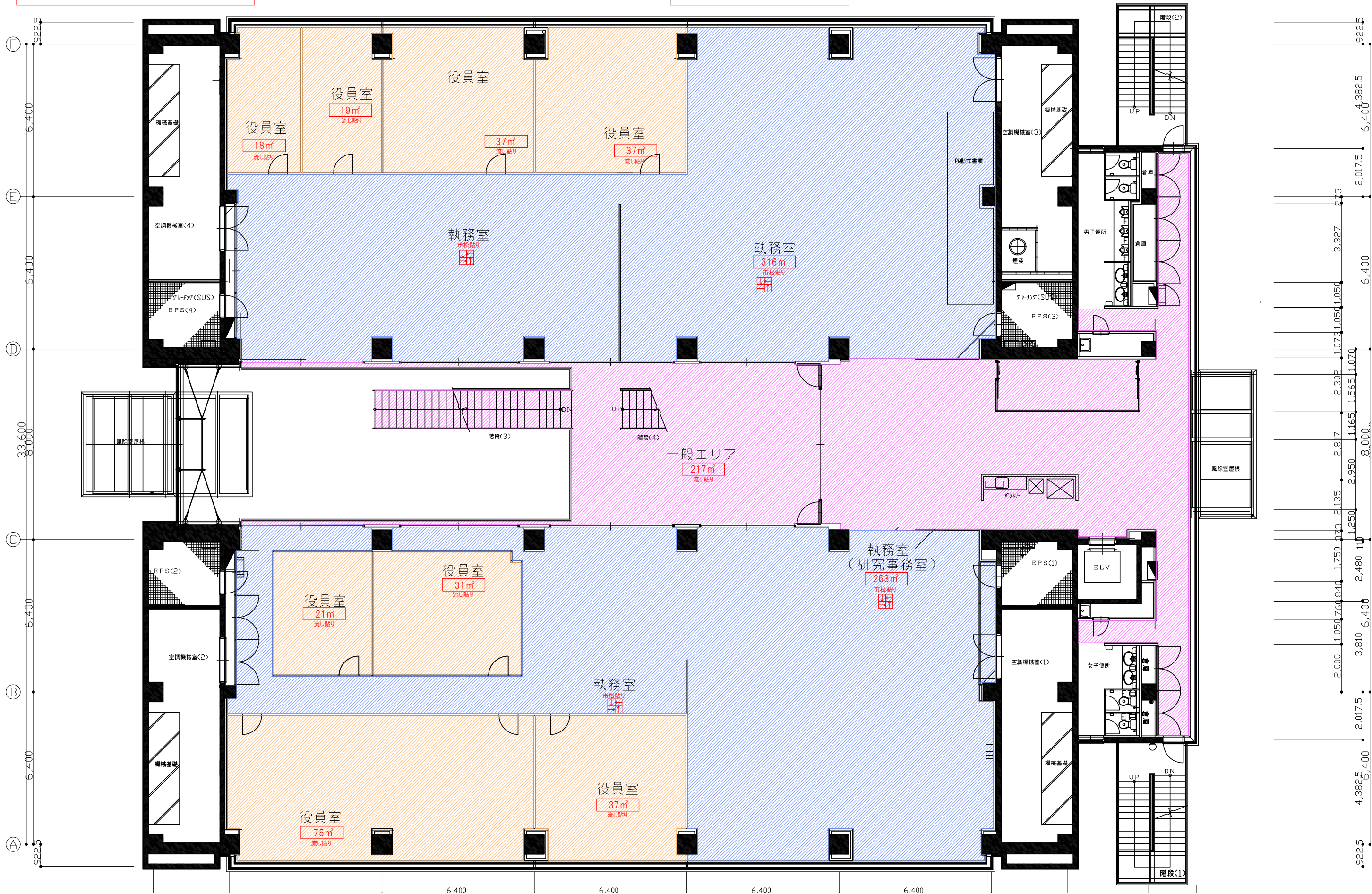


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	1階床面横図		
縮尺		単位	mm
設計年月日	令和7年10月	図番	7
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

延床面積 1071m²

2階床面積図

- 凡例
- … 執務室
 - … 一般
 - … 役員室

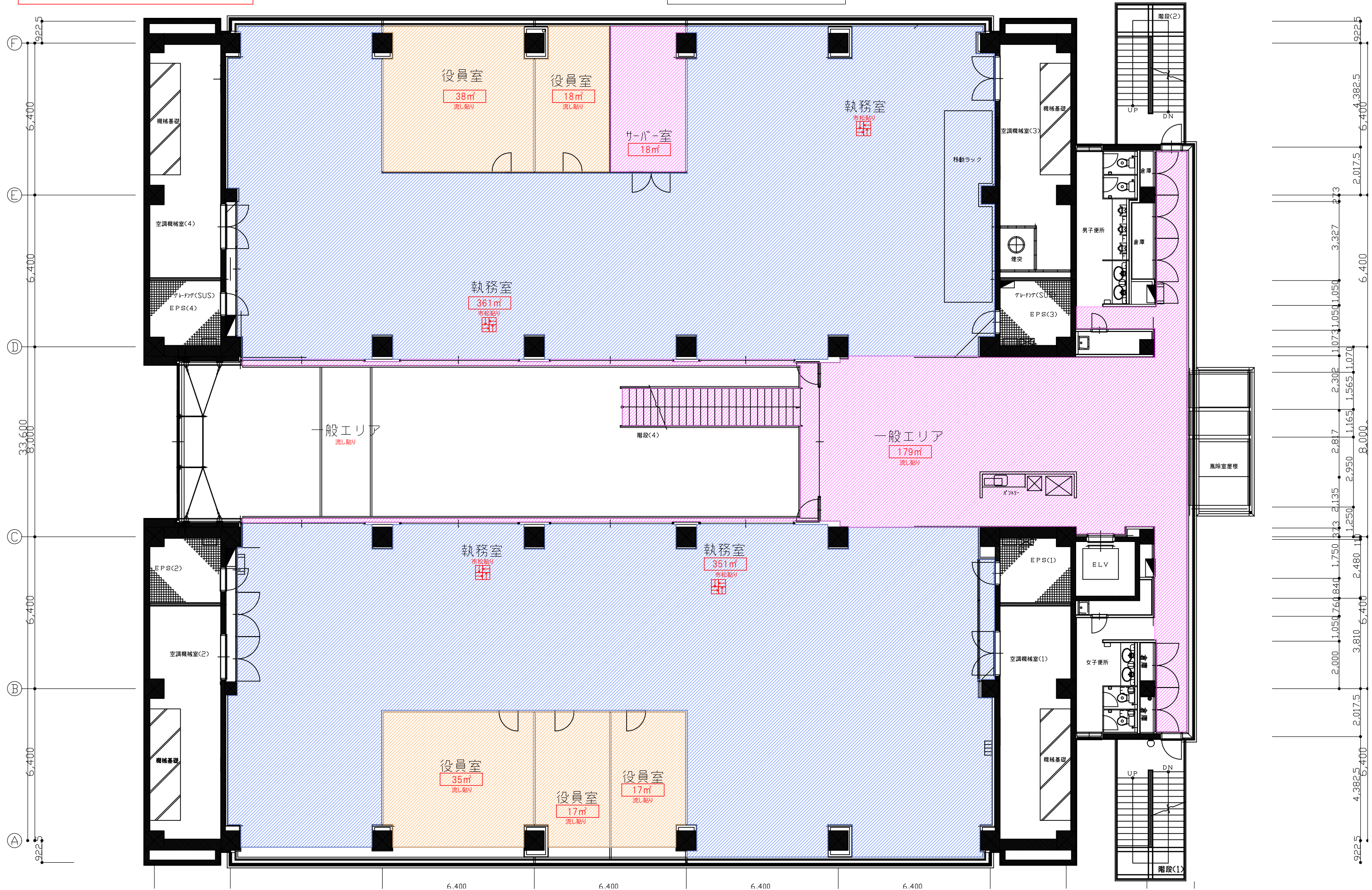


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	2階床面積図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	8
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

延床面積 1034㎡

3階床面積図

- 凡例
- … 執務室
 - … 一般
 - … 役員室

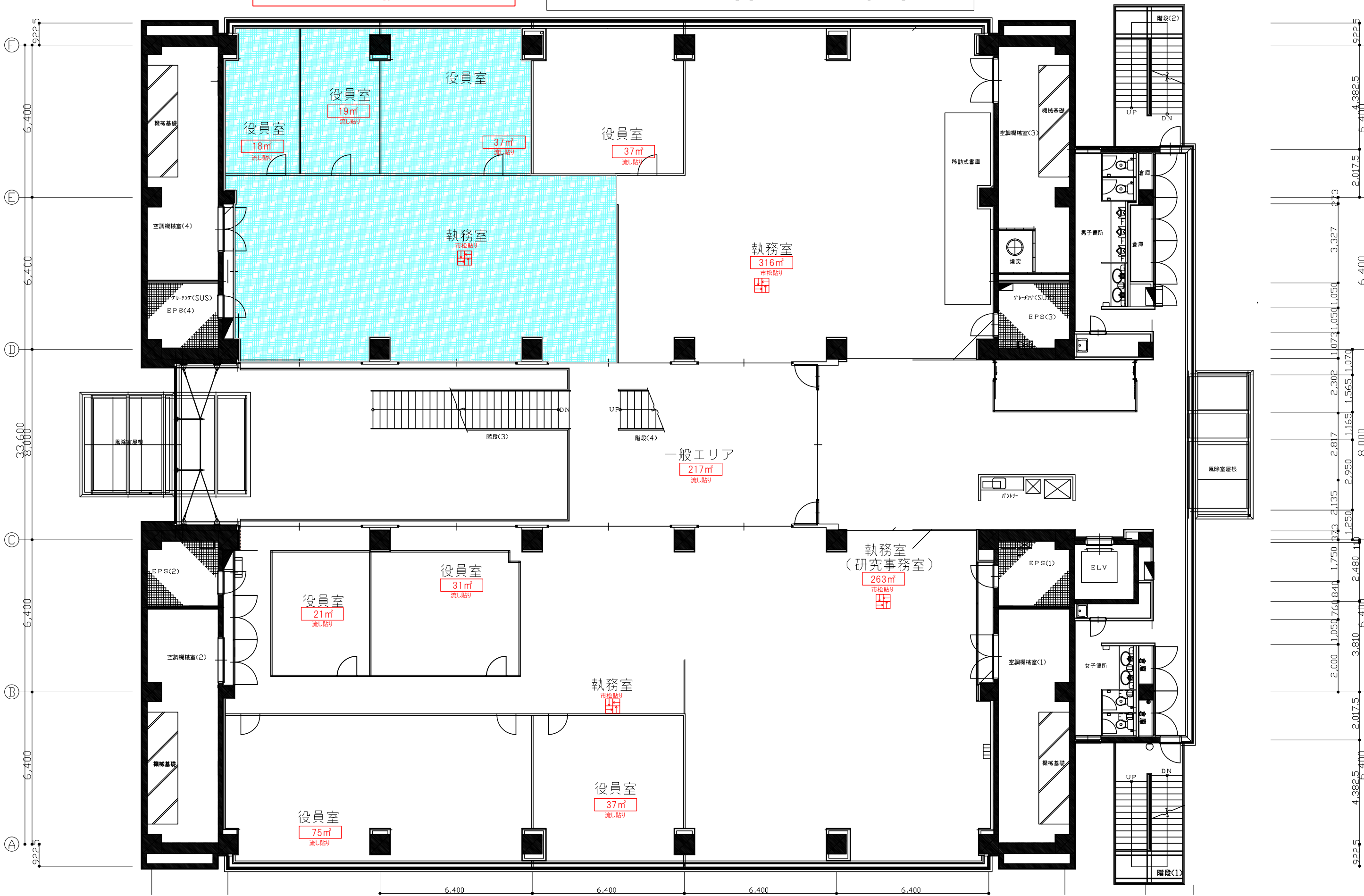


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	3階床面積図		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	9
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

2F作業面積 201㎡

1週目 2階作業範囲

■凡例
A工程

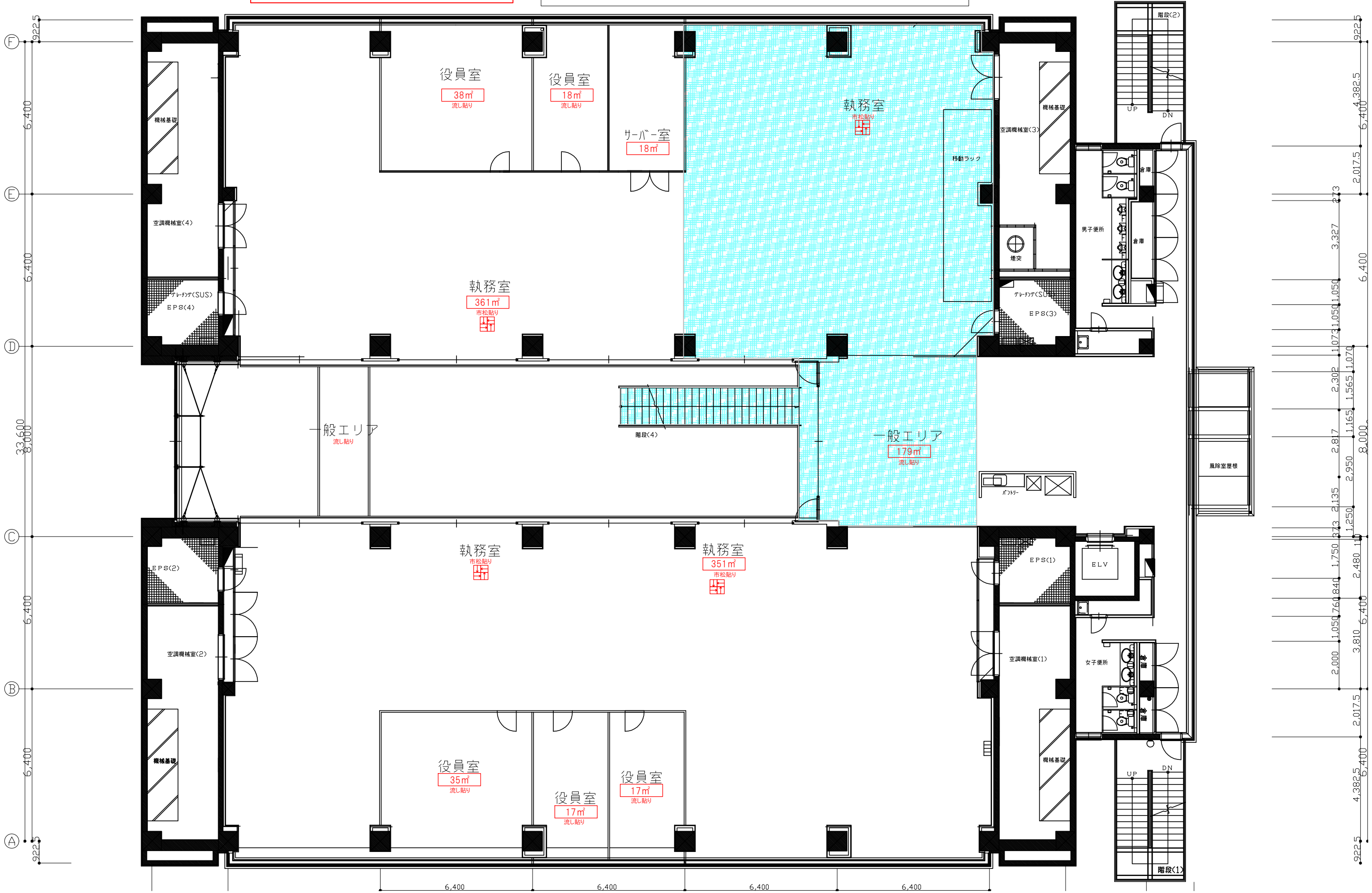


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	1週目 2階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	10
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3F作業面積 235㎡

1週目 3階作業範囲

■凡例
A工程



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	1週目 3階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	11
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

2F作業面積 235㎡

2週目 2階作業範囲

■凡例
B工程

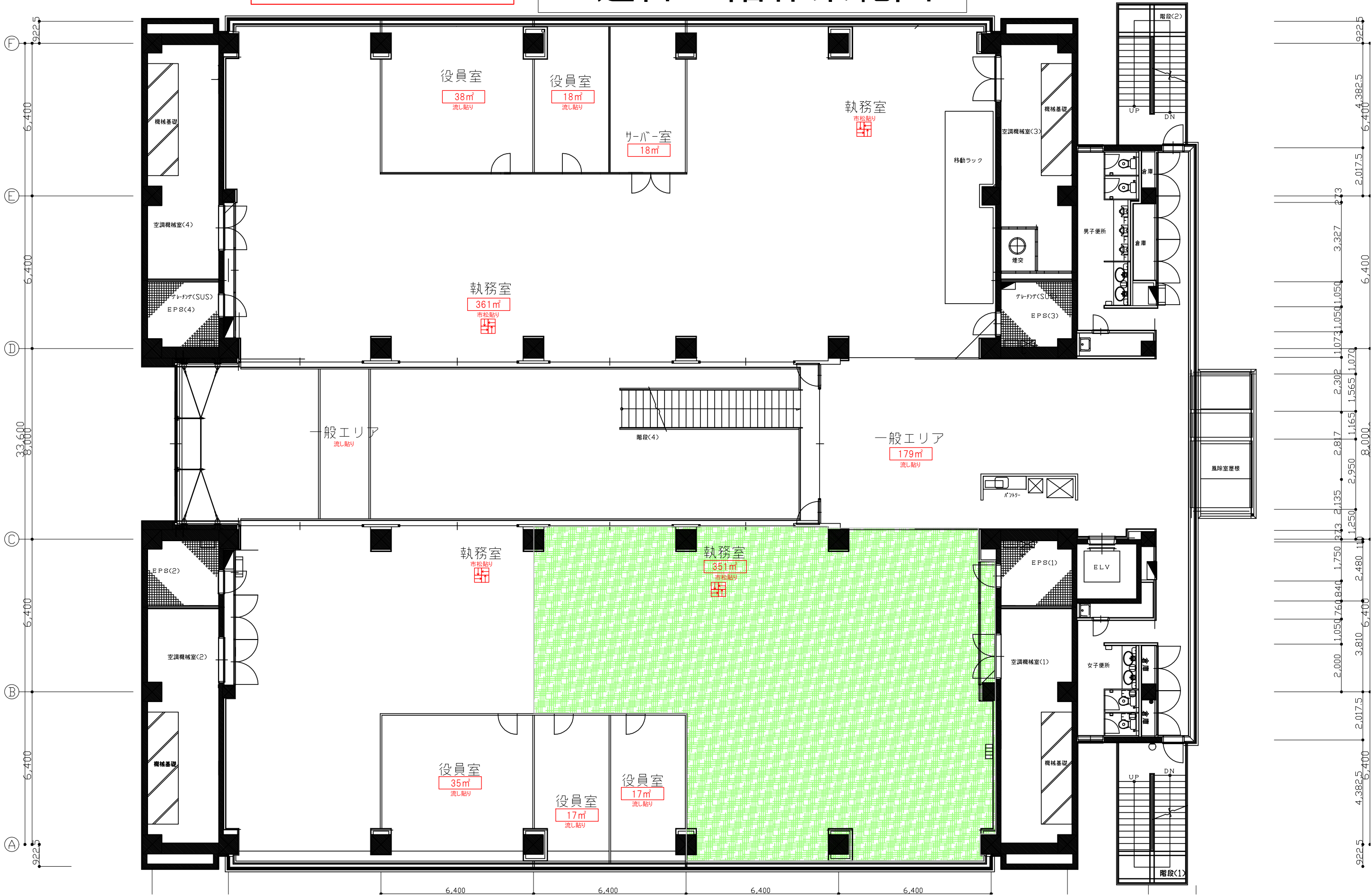


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	2週目 2階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	12
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3F作業面積 220㎡

2週目 3階作業範囲

■凡例
■…B工程

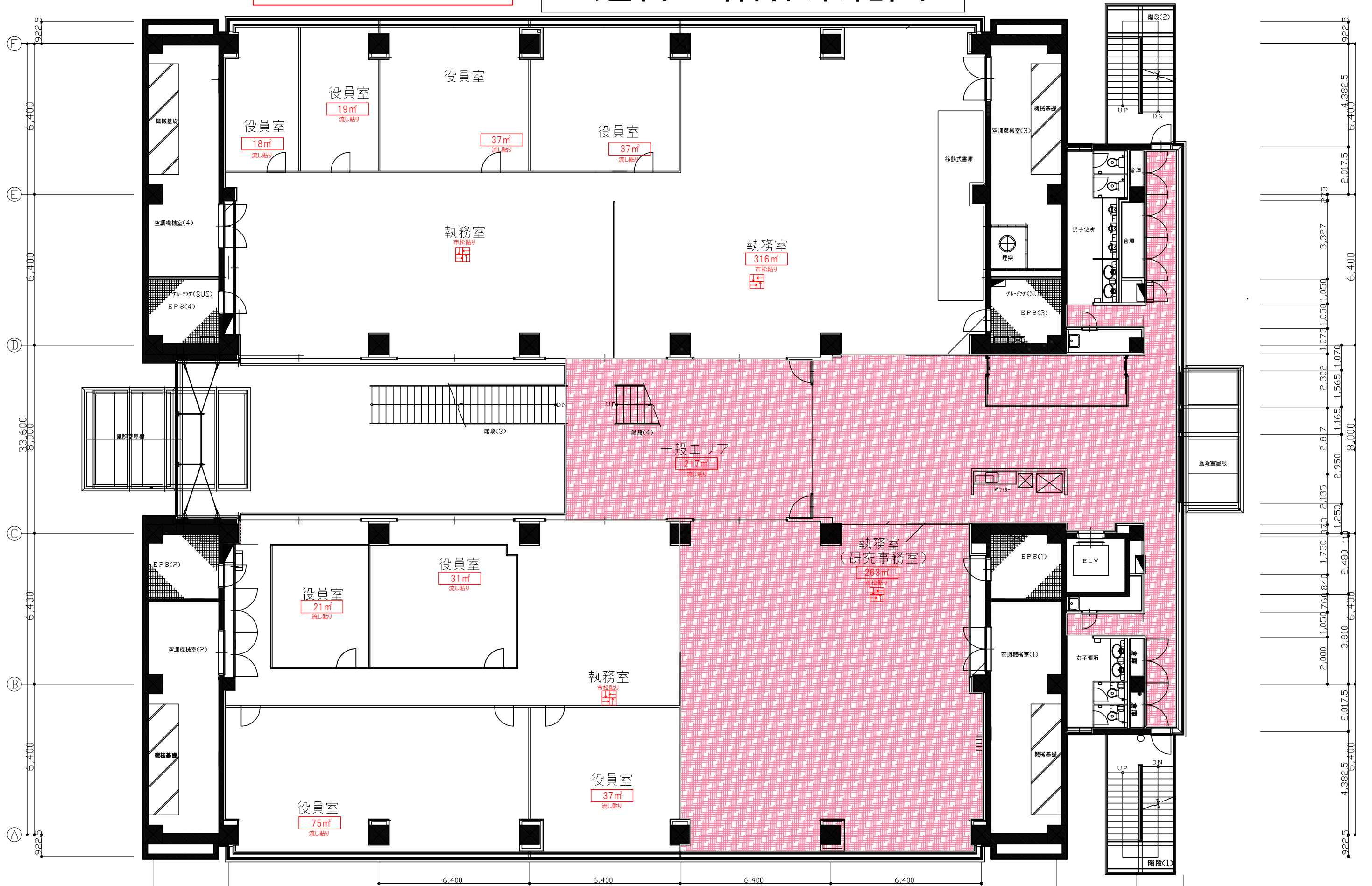


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	2週目 3階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	13
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

2F作業面積 382㎡

3週目 2階作業範囲

■凡例
C工程

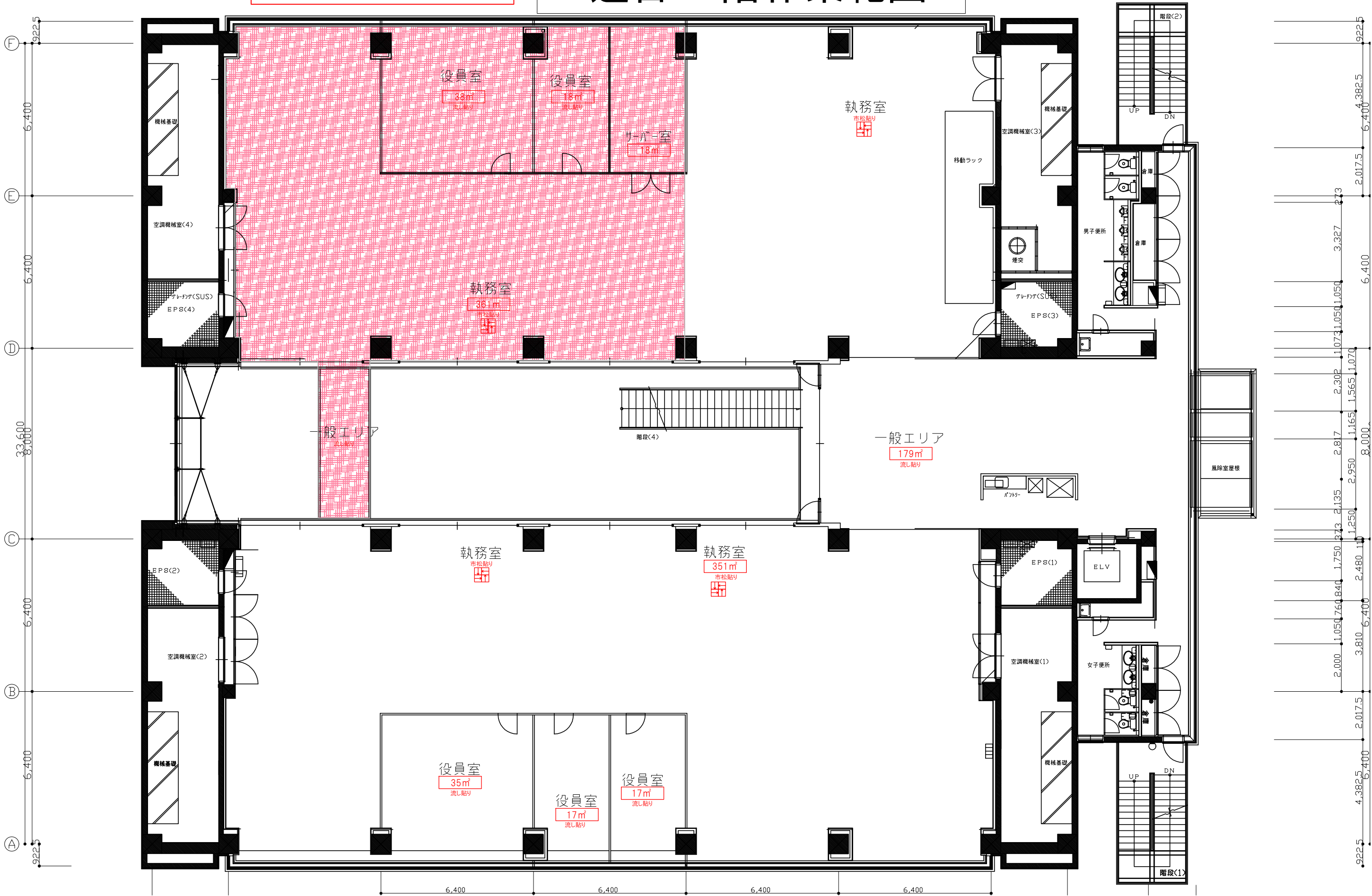


件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	3週目 2階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	14
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3F作業面積 276㎡

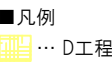
3週目 3階作業範囲

■凡例
C工程



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	3週目 3階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	15
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

4週目 2階作業範囲



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	4週目 2階作業範囲		
縮尺		単位	mm
設計年月日	令和7年10月	図番	16
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

3F作業面積 303㎡

4週目 3階作業範囲

■凡例
… D工程



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	4週目 3階作業範囲		
縮尺	単位	mm	
設計年月日	令和7年10月	図番	17
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

5週目 1階作業範囲



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	5週目 1階作業範囲		
縮尺		単位	mm
設計年月日	令和7年10月	図番	18
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

1F作業面積 262㎡

6週目 1階作業範囲

■凡例
■…B工程



件名	研究所本館タイルカーペット張替業務		
図面名称	6週目 1階作業範囲		
縮尺		単位	mm
設計年月日	令和7年10月	図番	19
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

7週目 1階作業範囲

